

こちら

福島商業高校進路指導部
令和5年(2023年)7月24日 発行

進路指導部！

第3号

◇6月28日は「進路活動の日」でした！◇

本校1・2年生と福島中学校の全校生徒を対象に「職業を知るガイダンス」を行いました。中高生と一緒に職業について学ぶ時間とし、北海道理容美容専門学校長 原井様より全体講演として「働くとはどのようなことか」を講演してもらいました。自分の人生をどう考えていくか、壁にぶつかったときにどうしていくのか等、これからの生き方を考えるヒントをもらうことができました。職業ガイダンスでは町内にある企業の方や公務員の方々や大学・専門学校の講師の方々から、それぞれの分野の職業の魅力・現実的な話などを聞き、進路について知識を深めることができました。

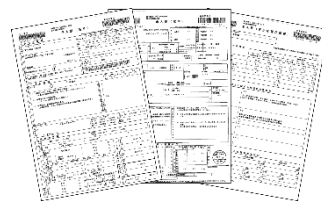


また、3年生は函館公共職業安定所の方から求人票の見方や自己PRの考え方を教えてもらいました。今回はZ o o mを活用して、担当の方から話を聞きながら、ワークシートを作成しました。これから3年生の進路活動は本格化するため、今回の活動で、進路活動に向けた備えができました。9月には面接指導を函館公共職業安定所の方々に行ってもらおう予定です。今のうちから準備をしておきましょう。

3年生の夏は「勝負の時」です。進路実現のために先を見据えながら行動しましょう。1・2年生は、まだ先のことだとは思わず、進路実現に向けてどのようなことが大切なのか、3年生の動きを感じ取りながらできることから取り組んでいきましょう。

◇求人動向は？◇

3年生の就職希望者は7月1日の求人票受付開始と同時に、進路活動が本格化しました。今年度の求人情報は進路室で管理しているため、郵送や持参で受け取った求人に関しては「企業名・就業場所・仕事の内容・給料・保管先」を一覧にし、進路相談室前に貼り出し更新しています。気になる求人に関しては求人票を持ち帰ってもらい、家族と相談をしましょう。昨年度の求人倍率は2.28倍でした。

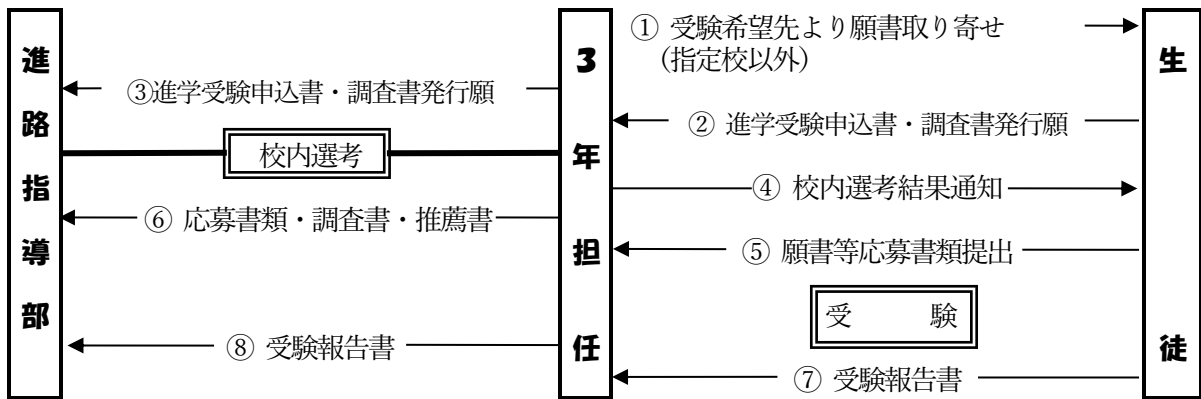


それにも劣らず、今年度の求人数は好調です。求人傾向としては、昨年度から引き続き建築・建設業が多く、ホテル・観光業からの求人が目立っています。同業種であっても、企業によって給与や福利厚生等が異なるため、求人票をぜひ見比べてみましょう。また、その年によって求人情報は異なるため、就職希望者は早めの行動を心掛けましょう。そして、ぜひ夏休みを利用した職場の応募前見学に参加しましょう。ただし、応募前見学は学校をとおして申し込みをするため、企業との日程調整が必要となります。希望する企業がある場合は早めに進路指導部に申し出てください。この夏休み中にも求人情報が届く予定です。何もしなければ、その企業との縁も消えてしまいかねません。自ら積極的に行動し、自分が納得できる進路選択をするために、どのようなことが必要か考え行動しましょう。

◇3年生の進路活動のための書類は？◇

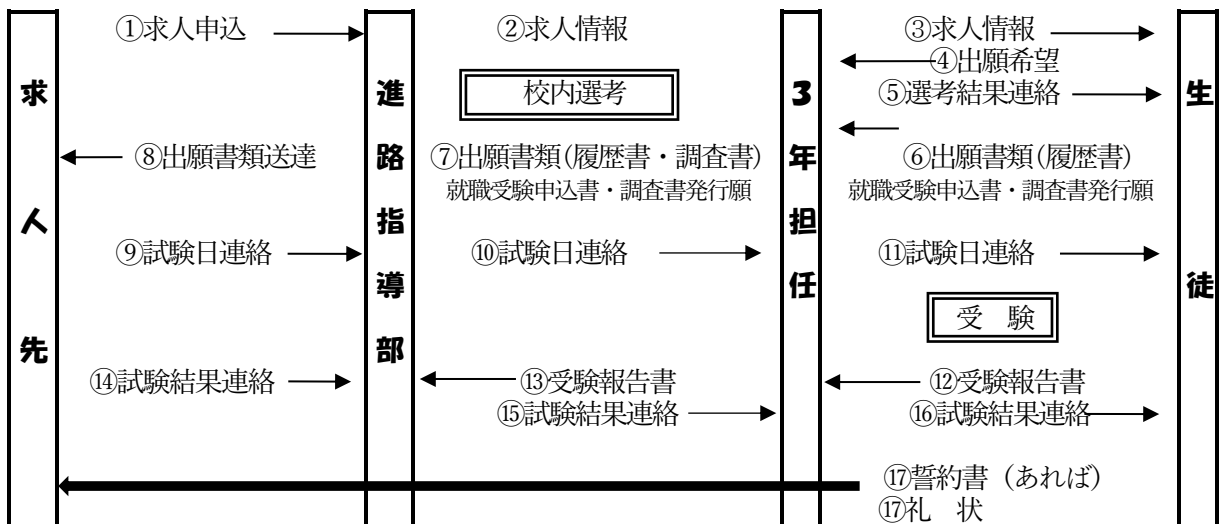
①進学の場合

進路書類は受験方法によって異なります。学校推薦型選抜・総合型（AO）選抜・一般型選抜のいずれかの方法で進学先を決めていきます。本校では、進学先の受験に当たって次の手続きで行ってください。また、志望校への出願に向けては①～⑥の手順で進めることになります。書類については、担任の先生および進路指導部のチェックが終わると、教頭先生・校長先生にも確認をしてもらい「決裁」を受けます。これが終わらなければ、書類を志望校へ出せません。出願したい2週間前までに書類の準備を進めましょう。



②就職の場合

縁故（ハローワークの求人を使わない）場合は、家族や就職先との話し合いで雇用形態などが決まります。受験や内定が決まった場合は、担任の先生へ報告を忘れずに行ってください。また、ハローワークの求人を使う場合は、次の手続きを行ってください。高卒求人の場合は、学校からの推薦として扱われ、進学の場合と同じく「決裁」が必要です。応募期限が決まっている企業もあるので、必ず求人票の内容を確認しましょう。



③公務員の場合

国家公務員や北海道職員等を希望する場合は、あらかじめ決められている期間に電子申請が必要な場合があります。また、受験日が重ならない限り、複数の試験を受験することができます。公務員を目指す場合には、戦略的に受験計画を立てていきましょう。

◇1・2年生は基礎力診断テストを返却します◇

今回は5月に行ったテスト+進路適性検査の結果を返却します。この夏休みを利用して、今後の「勉強方法」を考えてみましょう。まずは、個人診断レポートを見てみましょう。表紙には、前回の結果や進路意識などが、分かりやすくまとめられています。また、冊子を見ていくと、一人ひとりに対して3教科で特に力をつけてもらいたい部分が問題形式で出題されています。ぜひ、取り組んでみましょう。得意な部分や不得意な部分などが見えてくるはずですよ。また、2年生は昨年度の結果から今回の結果までの状況がグラフで表示されています。国・数・英の3教科の学力の推移を追ってみましょう。

そして、ベネッセ「基礎力診断テスト」は、GTZ（学習到達ゾーン）で各教科の力が分析されています。この分析結果が全てではありませんが、それぞれの学力の目安や卒業後に向けて身につけたい力として示されているので、次の表で確認してみましょう。今回の結果で「D3」があった人は、一つ上の「D2」以上の力を身につけられるように、学校生活や勉強等に見直しをかけていきましょう。ぜひ、自分のなりたて姿を想像して、自分自身を高めてください。

〈GTZ（学習到達ゾーン）一覧表〉

GTZ	進学目安	就職目安	卒業後に向けて身につけたい力
A2	4年制大学一般入試で合格を目指す。	公務員試験で合格を目指す。 学力重視の企業や競争率の高い企業への合格を目指す。	現状に満足せず、より高い目標に向けて努力する姿勢が必要。
A3			
B1			
B2			
B3			
C1+	4年制大学推薦入試で合格を目指す。	一般的な入社試験（筆記）で合格を目指す。 資格取得に合格するための基礎学力が身につけている。	言われたことだけでなく、自分で課題を見つけられる力が必要。
C1-			
C2+			
C2-			
C3+			
C3-	短期大学・専門学校の合格を目指す。	就職後に仕事に取り組む上で最低限の学力が身につけている。	言われたことを正確に把握し、確実に実行する力が必要。
D1+			
D1-			
D2+			
D2-	希望が実現できなかったり、進学後についていけなかったりする可能性が高い。	希望が実現できなかったり、就職後に仕事について行けなかったりする可能性が高い。	基本的な生活習慣から見直しが必要。
D3+			
D3-	希望が実現できなかったり、進学後についていけなかったりする可能性が高い。	希望が実現できなかったり、就職後に仕事について行けなかったりする可能性が高い。	基本的な生活習慣から見直しが必要。
D3+			

この「D3」ゾーンのままでなく、一つ上の「D2」ゾーンを目指して、進学・就職後に困らないようにしていきましょう。

今年度は10月に2回目の基礎力診断テストを実施します。次の目標もぜひ立ててみましょう。

◇夏休みの講習開始◇

東京アカデミーによる講習が次の日程で行われます。いよいよ公務員志望の人にとっては追い込みの時期です。改めて公務員試験の日程や内容を確認しておきましょう。一般教養や適性検査の他に作文が課される場合があります。今のうちに対策をしておきましょう。

また、進学希望者向けの講習がここからスタートします。学校の授業で習っている範囲以外も講習の中では取り扱われます。「習ってないから…」をネガティブにとらえるのではなくポジティブにとらえて、取り組んでいきましょう。

今年度の新しい取り組みとして、2日間だけ限定で「小論文・作文・志望理由書の書き方講座」を行います。主に3年生が対象です。進学・就職問わずに受講することが可能です。希望者は進路指導部に申し出てください。

〈 日 程 〉 ※教科は予定

講座名	日程
公務員講座	7/25 (社会) 7/26 (社会) 8/1 (判断推理・数的推理) 8/2 (数的推理・判断推理) ※終日 10:30~16:50
進学者向け講座	8/7 (国語) 8/8 (英語) 8/9 (数学) ※終日 10:00~16:00
小論文・作文・志望理由書の書き方講座	7/27 7/28 ※終日 10:00~16:00

◇ i k i g a i って知っていますか? ◇

私たちが働いていく中で、耳にする言葉に「生きがい」があります。実は、外国でもそのまま通じる言葉です。2016年春に出版された『ikigai』(Francesc Miralles Héctor Garcia 共著)がきっかけとなり、「生きがい (ikigai)」に新たな解釈が加わって世界に羽ばたいた言葉になりました。

「いきがい」という言葉は知っているけれども、その意味は深く考えたことがない人が多いと思います。本の中では「生きがい」に合う言葉がないため、考え方を解説しています。基本となる4つの考え「あなたが好きなこと」・「世界が必要としていること」・「報酬を得られること」・「あなたが得意なこと」が重なり合った中心に「生きがい」がある。それぞれの円の重なりあっている部分も中心となる「生きがい」に関係していると考えられています。「生きがい」=「働きがいがある」・「働いている時に充実している」といったイメージが日本人にはあるかもしれませんが。しかし、他の国々からの視点では違う捉え方をしています。もしかしたら、私たちにも時として違う視点で物事をとらえることや考えることが必要なのかもしれません。興味をもった人は、インターネットなどで調べてみてください。

